



平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年5月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 カルナバイオサイエンス株式会社

コード番号 4572 URL <http://www.carnabio.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉野公一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長

(氏名) 相川 法男

TEL 078-302-7039

四半期報告書提出予定日 平成22年5月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	163	0.2	△93	—	△93	—	△95	—
21年12月期第1四半期	162	—	△83	—	△79	—	△82	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年12月期第1四半期	△1,628.13	—
21年12月期第1四半期	△1,557.29	—

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年12月期第1四半期	2,003	1,703	85.0	29,015.95
21年12月期	2,043	1,801	88.1	30,680.71

(参考)自己資本 22年12月期第1四半期 1,703百万円 21年12月期 1,801百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期	385	21.1	△194	—	△165	—	△173	—	△2,952.92
連結累計期間	840	22.3	△321	—	△294	—	△304	—	△5,182.64

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- | | | | | |
|----------------------|--------------|---------|--------------|---------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年12月期第1四半期 | 58,710株 | 21年12月期 | 58,710株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年12月期第1四半期 | 一株 | 21年12月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年12月期第1四半期 | 58,710株 | 21年12月期第1四半期 | 53,270株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。当該予想と実績の間には、今後様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢に厳しさが残るものの、企業収益の改善が続く中、海外経済の改善や政府の経済対策の効果により、景気持ち直しの傾向が続いております。当社グループが属する製薬業界におきましては、医療制度改革や大手製薬企業の主力製品の相次ぐ特許切れ等を背景とした国際的な新薬開発競争の激化が続く等、依然として不透明な状況が続いております。

このような外部環境の中、当社グループは、キナーゼ創薬に係る創薬基盤技術を核とした創薬支援事業並びに創薬事業を積極的に展開し、事業の拡大を図ってまいりました。

事業別に見ますと、創薬支援事業につきましては、研究開発面では、顧客の視点に立った製品・サービスの拡充のための積極的な研究開発活動を進めました。営業面では、国内の市場においては、顧客である製薬企業内部での当社製品・サービスの浸透を図るとともに、付加価値の高いサービスの提供により他社サービスとの差別化を図り、顧客との結びつきを強めました。海外市場においては、米国では営業担当者を採用して新規顧客の開拓に注力し、欧州では現地販売代行会社のサポートや市場調査・販促活動を行う専属の営業担当者を採用し、販売体制の整備及び強化に努めてまいりました。他方、創薬事業につきましては、独立行政法人国立がん研究センター（以下、「国立がん研究センター」という）等との共同研究及び自社研究プロジェクトを積極的に進めてまいりました。また、国立がん研究センターとの共同研究が、独立行政法人医薬基盤研究所の運営する「保健医療分野における基礎研究推進事業」の平成22年度新規研究プロジェクトとして採択されました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は163百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業損失93百万円（前年同四半期は83百万円の損失）、経常損失93百万円（前年同四半期は79百万円の損失）、四半期損失95百万円（前年同四半期は82百万円の損失）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次の通りです。

①創薬支援事業

キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発、プロファイリング・スクリーニングサービスの提供により、創薬支援事業の売上高は156百万円（前年同四半期比3.7%減）、営業利益は21百万円（前年同四半期は35百万円の利益）となりました。売上高の内訳は、キナーゼタンパク質の販売61百万円（前年同四半期比20.9%減）、アッセイ開発15百万円（前年同四半期比42.1%減）、プロファイリング・スクリーニングサービス59百万円（前年同四半期比1.9%増）、その他（リード探索サービス等）20百万円（前年同四半期比2,760.9%増）であります。

②創薬事業

当第1四半期連結累計期間の創薬事業の売上高は6百万円（前年同四半期比2,564.0%増）、営業損失は114百万円（前年同四半期は119百万円の損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期末における総資産は2,003百万円（前連結会計年度末比40百万円減）、負債は300百万円（前連結会計年度末比57百万円増）、純資産は1,703百万円（前連結会計年度末比97百万円減）となり、自己資本比率は85.0%（前連結会計年度末88.1%）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により121百万円減少し、投資活動により13百万円減少し、財務活動により48百万円増加した結果、当第1四半期連結会計期間末においては1,403百万円（前連結会計年度末比87百万円減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は121百万円（前年同四半期は216百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失95百万円の計上、売上債権の減少18百万円、未払金の減少42百万円及び減価償却費14百万円の計上等の差し引きによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は13百万円（前年同四半期は200百万円の減少）となりました。これは有形固定資産の取得による支出3百万円及び投資有価証券の取得による支出9百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は48百万円（前年同四半期は発生無し）となりました。これは長期借入れによる収入100百万円、長期借入金の返済による支出1百万円及び担保に供した預金の増加額50百万円の差し引きによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年2月12日に公表いたしました平成22年12月期の業績予想に変更はございません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関しては、該当事項はありません。

記載すべき重要な簡便な会計処理の適用についても、該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

- (4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、継続して営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況（重要事象等）が存在しております。

当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策として、創薬支援事業の売上を伸ばすことで当該事業の利益の上積みを図るとともに、創薬事業における研究開発を更に進め、新薬候補化合物を製薬企業に導出することで当該事業の業績改善を図り、また、研究の効率化や諸経費の抑制等の経費削減に努めることで、早期の全社業績の黒字化を達成するよう取り組んでまいります。

なお、文中の将来に関する事項は、現時点で当社グループが判断したものであります。

5【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,153,453	1,290,716
売掛金	108,980	127,104
有価証券	300,000	200,000
商品及び製品	78,658	74,918
仕掛品	14,956	15,566
原材料及び貯蔵品	13,170	12,707
その他	57,703	39,382
貸倒引当金	△29	△32
流動資産合計	1,726,893	1,760,363
固定資産		
有形固定資産	104,858	115,193
無形固定資産	25,281	26,957
投資その他の資産	146,572	141,395
固定資産合計	276,711	283,546
資産合計	2,003,605	2,043,910
負債の部		
流動負債		
買掛金	152	2
1年内返済予定の長期借入金	40,992	7,992
未払金	46,442	88,663
未払法人税等	1,909	5,619
その他	73,381	66,541
流動負債合計	162,877	168,818
固定負債		
長期借入金	135,012	70,010
繰延税金負債	2,189	3,817
固定負債合計	137,201	73,827
負債合計	300,078	242,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,125,632	2,125,632
資本剰余金	673,100	673,100
利益剰余金	△1,093,854	△998,266
株主資本合計	1,704,878	1,800,465
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,096	5,578
為替換算調整勘定	△4,447	△4,779
評価・換算差額等合計	△1,351	798
純資産合計	1,703,526	1,801,264
負債純資産合計	2,003,605	2,043,910

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	162,627	163,004
売上原価	52,183	62,183
売上総利益	110,444	100,821
販売費及び一般管理費	194,114	194,151
営業損失(△)	△83,670	△93,330
営業外収益		
受取利息	1,872	254
為替差益	1,272	—
その他	948	67
営業外収益合計	4,093	321
営業外費用		
支払利息	6	293
為替差損	—	188
その他	—	76
営業外費用合計	6	558
経常損失(△)	△79,584	△93,567
特別損失		
減損損失	3,099	1,434
固定資産除却損	22	—
特別損失合計	3,121	1,434
税金等調整前四半期純損失(△)	△82,705	△95,001
法人税、住民税及び事業税	251	586
法人税等合計	251	586
四半期純損失(△)	△82,956	△95,587

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△82,705	△95,001
減価償却費	25,510	14,671
減損損失	3,099	1,434
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△433	△3
受取利息	△1,872	△254
支払利息	6	293
固定資産除却損	22	—
売上債権の増減額(△は増加)	△31,201	18,269
たな卸資産の増減額(△は増加)	△13,585	△3,561
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,992	150
前受金の増減額(△は減少)	△24,138	—
未払金の増減額(△は減少)	△97,608	△42,745
その他	8,031	△12,591
小計	△216,867	△119,339
利息の受取額	1,892	298
利息の支払額	—	△436
法人税等の支払額	△1,364	△2,405
営業活動によるキャッシュ・フロー	△216,339	△121,883
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△4,658	△3,610
無形固定資産の取得による支出	△1,800	—
投資有価証券の取得による支出	—	△9,995
差入保証金の回収による収入	6,019	—
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	100,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△200,439	△13,605
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	—	△1,998
担保に供した預金の増減額(△は増加)	—	△50,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	48,002
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,924	224
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△414,853	△87,262
現金及び現金同等物の期首残高	1,432,132	1,490,716
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,017,279	1,403,453

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

	創薬支援事業 (千円)	創薬事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
外部顧客に対する売上高	162,377	250	162,627	—	162,627
計	162,377	250	162,627	—	162,627
営業利益又は営業損失(△)	35,522	△119,192	△83,670	—	△83,670

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品又は事業の内容

- (1) 創薬支援事業…キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発
プロファイリング・スクリーニングサービス
- (2) 創薬事業……キナーゼ阻害薬研究

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

	創薬支援事業 (千円)	創薬事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
外部顧客に対する売上高	156,344	6,660	163,004	—	163,004
計	156,344	6,660	163,004	—	163,004
営業利益又は営業損失(△)	21,498	△114,829	△93,330	—	△93,330

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品又は事業の内容

- (1) 創薬支援事業…キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発
プロファイリング・スクリーニングサービス
- (2) 創薬事業……キナーゼ阻害薬研究

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

	日本(千円)	北米(千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	129,680	32,947	162,627	—	162,627
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,126	—	19,126	(19,126)	—
計	148,806	32,947	181,753	(19,126)	162,627
営業利益又は営業損失(△)	△87,331	1,985	△85,346	1,675	△83,670

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
北米…米国

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

	日本(千円)	北米(千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	126,245	36,758	163,004	—	163,004
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	23,156	—	23,156	(23,156)	—
計	149,401	36,758	186,160	(23,156)	163,004
営業損失(△)	△92,581	△491	△93,072	(257)	△93,330

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
北米…米国

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	32,947	18,244	1,696	52,888
II 連結売上高(千円)	—	—	—	162,627
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	20.3	11.2	1.0	32.5

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 北米…米国、カナダ
 (2) 欧州…デンマーク、ベルギー、英国、スペイン
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	36,758	8,099	3,273	48,131
II 連結売上高(千円)	—	—	—	163,004
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	22.5	5.0	2.0	29.5

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 北米…米国、カナダ
 (2) 欧州…デンマーク、ベルギー、英国、スペイン
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。